

サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030

フォローアップ会議

資料2-1 評価指標検討の進捗報告

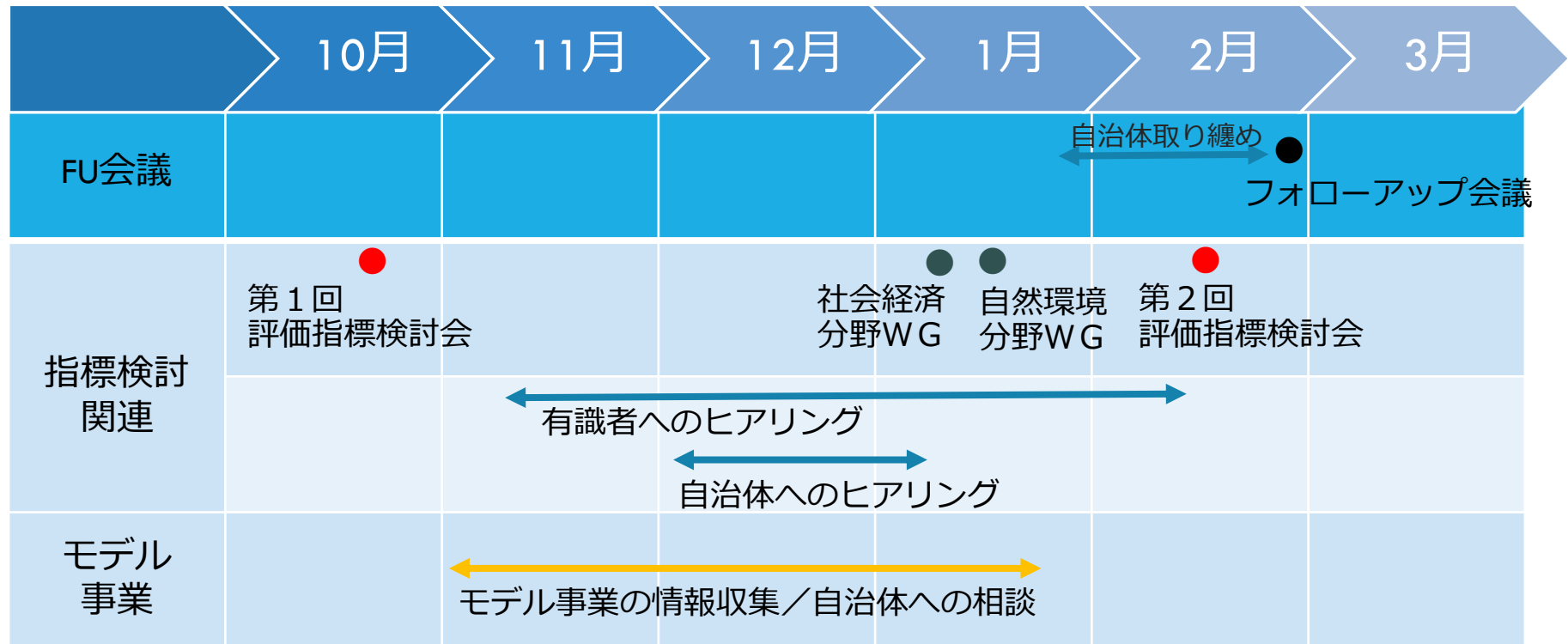
環境省自然環境局 自然環境計画課

背景

- 日本のサンゴ礁生態系を守るための具体的な行動を示すための計画として、専門家、関係省庁、地方公共団体、日本サンゴ礁学会等の協力を得て「サンゴ礁生態系保全行動計画2022-2030」（第3期）を令和3年度に策定。
- 同計画では、2030年度までの目標を定め、目標達成に向けて関係機関が協力して取り組むべき4つの重点課題を設定。
- 2030年度を目処に終了時評価を実施。SDGsアクションプラン等の関連する計画や昆明・モントリオール生物多様性枠組、国連海洋科学の10年等の国際的動向、サンゴ礁生態系を取り巻く状況も踏まえ、効率的・効果的な見直しを図る。

スケジュール

	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
FU会議等	FU会議	FU会議	FU会議	FU会議	中間評価会議	FU会議	FU会議	最終評価会議	次期計画検討会議
計画の評価・見直し					中間評価	→		最終評価	→ 終了時評価・次期計画検討
指標の作成	指標について情報収集	指標の検討	→ 評価指標決定	指標の評価の試行		→	→		
モデル事業の実施	情報収集	期間・場所等の検討	→ 開始	→	→	→	→	→	→



1. フォローアップ会議
例年通り、令和5年度に実施した保全活動について報告・情報共有を行う「フォローアップ会議」を実施。評価指標検討会等の検討状況を自治体、関係省庁等にも報告。
2. 評価指標の検討
 - ①第1回評価指標検討会（2023年10月23日開催）
 - ②社会経済分野に係るワーキンググループ（2024年1月16日開催）
 - ③自然環境分野に係るワーキンググループ（2024年1月22日開催）
 - ④第2回評価指標検討会（2024年2月15日開催）
3. モデル事業実施に向けた情報収集、等

令和5年度

第1回評価指標検討会

行動計画2022-2030の最終目標（状態目標）の明確化について議論

自治体等へのヒアリング

活動主体の10都県に、指標に係るデータの有無、基礎自治体との連携などについてヒアリング実施

自然環境分野に関するWG

状態目標A、重点課題1、2-1について指標を検討

社会経済分野に関するWG

状態目標B、重点課題2-2、2-3について指標を検討。

第2回評価指標検討会

WGにて検討した指標案を総合的に議論し、指標の一覧について了承。実施体制（案）も検討

フォローアップ会議（2024.2.29）

第2回評価指標検討会での議論を踏まえた指標一覧のリバイス版等について情報共有

令和6年度の予定

関係自治体等との連絡会議（都県・市町村等）

- ・ 評価指標についての説明、協力依頼
- ・ 個別指標の選択等の検討、取りまとめ等についての相談
- ・ 各地域のサンゴ礁/サンゴ群集等の情報提供

個別ヒアリングの実施（委員、自治体）

- ・ 指標の個別シートの内容（解析方法、目標設定等）に関する相談（委員）
- ・ 共通指標（個別データ）に関する情報交換
- ・ 指標個別シートの作成支援（自治体）

評価指標検討会（実施時期・回数等は今後検討）

優先指標の評価指標個別シートの内容の検討、実施へ向けて助言

令和7年度 指標による評価の試行

指標は大きく下記の3つに区分したうえで、その実施体制は基本的に以下のように行う

- **共通指標**：共通の指標、同じデータを用いて、全国一律で指標を設定し、評価を実施する。取りまとめは事務局が担う。
- **共通指標（個別データ）**：同じ指標で評価するが、地域の実情に応じて、評価に使用するデータをカスタマイズする。各地域の個別データは都県や市町村から提供いただき、指標の取りまとめは事務局が担う。
- **個別指標**：特定の地域のみにおいて指標による評価を行う（地域の要望やニーズに応じて設定）。取りまとめは都県・市町村が担う。

